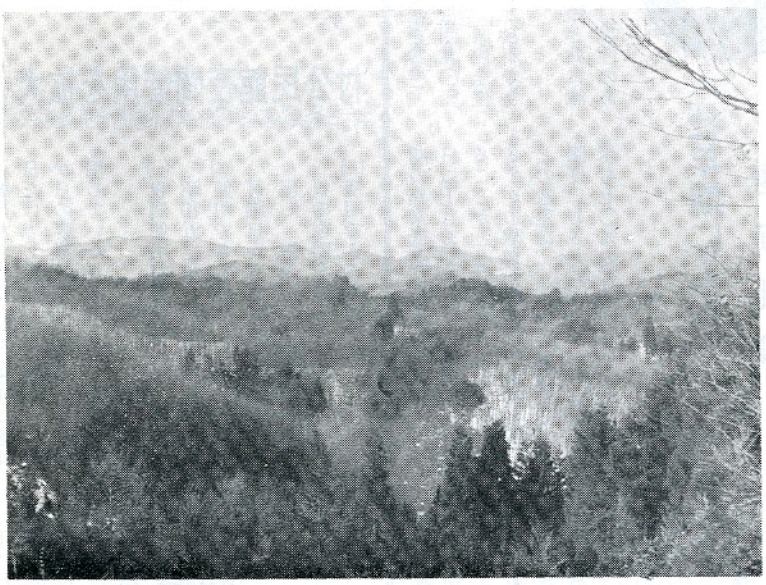
広報
さめがわ
昭和52年
1月号
No. 277
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所

元朝の展望

このあした阿武隈山の峯すそに雲たなびきてよき年明けぬ
関東をへだつる朝日の山峡の四時の水も鮫川に入る

曙峯



本坂から望む阿武隈山系の山なみ

⊙ 1月6日 消防出初式

⊙ 1月15日 鮫川村成人式

⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（12月28日現在）

人口	5,902	（＋6）
男	2,978	（＋4）
女	2,924	（＋2）
世帯	1,161	（ 0）



冷害による農作物の減収を、賃金収入で補う——救農事業が初まりました。師走の風はつめたいが土木工事の現場で働く人々の肌は汗ばんで来年の再生産への意欲に燃えています。

村公民館夜間使用を拡大！

鮫川村公民館の夜間使用は金曜日だけでしたが、このたび各方面からの要望にこたえ次のように利用していただくことにしました。

記

(一)夜間使用実施期日
昭和五二年一月五日から

(二)使用できる日
月曜日から土曜日までの夜間、但し、祝祭日及び年末年始の休日の夜間をのぞきます。

(三)使用できる時間
午後六時から午後九時五〇分迄

(四)使用申請
三日前に使用許可申請書で申請

(五)使用の対象
五名以上の団体とし、個人では使用できません

人事

（一月一日付）

昇　格
任税係長　（二等級）　高坂幸男
任学校教育係長　鈴木三千男（財政課）

異　動
財政課財政係　鈴木米子（学校教育課）

おめでた

一二月

大戸中　小松喜明　父小松次男
草　牛　田子裕子　父田子一夫
中　沢　坂本礼子　父坂本義男
反　田　坂本幸生　父坂本圭司
越　虫　石井　香　父石井重男
楢久保　森　隆之　父森　孝男

おくやみ

一二月　年令　世帯主
大　塩　矢吹幸江18才矢吹孝之助
江竜田　芳賀　清67才芳賀ミイ

年始火災予防

明けましておめでとうございます。

昨年中は火災予防についてご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

家族ぐるみで火災予防に努め、明るく楽しい正月をすごして下さい。

〝火災は人災
防ぐはあなた〟

消防署鮫川出張所

社会の歩み (21)

昨年は年の暮に近く衆議院議員の総選挙が行われ、三木内閣が選挙戦敗北の責任をとって退陣し福田新内閣が成立するという、激動の世代にふさわしい忽忙のうちに新しい年を迎えることになりました。

望み多き新しい年に限りない期待をかけながら、皆様のご多幸を心からお祈りしたいと思います。

昨年はいろいろな分野で異常づくめのことが続きました。

四月の知事選では圧倒的多数で当選した木村知事が、予想もしなかった汚職の罪を着て数ケ月でその座を去り、同じ年に二回の知事選挙を行う前代未聞の事態を招きました。

しかしわが村ではその後行われた衆議院議員の総選挙を含めて、選挙民の関心は高く、毎回九〇％を超える投票率を示し、県内上位クラスの成績を納めることができました。

このことは、納税成績と共に誠実で義務意識の豊かな村民性のあらわれであって、いつも誇り高く感ずるところであります。



壮年期に入る地方自治

村長　石田卯子八

昨年の気象異変もまた昭和九年以来四二年ぶりのことで、稲作を初め多くの農作物に深刻な被害を与えました。

七月の伸長期、八月の出穂開花期の異常低温は水稲の出穂を一〇日以上もおくらせ、一時はどうなることかと心配させられましたが、さすがに昭和九年当時の稲作技術との較差は、どうやら被害を最少限度におさえたようで、政府予約米も七〇％内外の線までこぎつける模様であります。

大冷害は二年続くというジンクスもあるので、この体験を貴重な試練として、今後の安定稲作を確立しなければなりません。

昭和五二年は地方自治法が施行されてから三〇周年に当ります。

敗戦に伴う世相人心の混乱の中から、民主主義の若い芽が焼土の地殻を破って芽生えたのも遠い思い出となったが、激しい風雪にたたかれながらも、ここに三〇年の年輪を積んだわけであります。

一〇年ひと昔という区切り方からいえば、昭和二〇年代は混乱と模索の時代、三〇年代はようやく目標を見定めて建設にとりかかった時代、四〇年代は経済成長の華やかな時代、そして五〇年代は不況の幕明けから安定成長に切りかえるべき時代といえるのではないかと思います。

望み多き昭和五二年、今年もまた村民皆様の福祉と繁栄を祈りつつ村政進展の施策を強力に展開することを誓い、ご協力をお願いする次第であります。

もうすぐ一年生
新入学のお子さんたち

昭和五二年四月小学校に入学するお子さんは、昭和四五年四月二日から昭和四六年四月一日までに生まれたお子さんたちです。

五一年一二月一日現在調べでは七五名で昨年の新入学児童より二名少なくなっています。

入学予定のお子さんは次のとおりですが、名前がちがったり、もれたりしていましたら一月末日までに教育委員会に申し出て下さい。

（電話四二番）

◉青生野小学校

児童名（保護者名）

棚井正司（朝己）、吉成佳昭（義郎）、大森美恵子（愛保）、藤田百百子（茂）、藤田孝之（昇）、長久保美英子（光市）、中島三男（文雄）、（男四名、女三名計七名）

◉渡瀬小学校

一ノ渡美香（安男）、蛭田さとみ（茂芳）、芳賀薫（道夫）、蛭田和代（康之）、鈴木勇（源一）、芳賀敦子（忠雄）、山形美佐江（政雄）、松本寿枝（幸典）、下重智子（正圭）、藤田君江（美喜男）。

（男一名、女九名計一〇名）

◉富田小学校

石井樹美代（一男）、石井和子（榮）、石井順子（榮）、松本和子（哲明）、船木博枝（正衛）。

（男なし、女五名計五名）

◉西野小学校

薄葉正勝（正一）、西野紀美江（長治）、鈴木照美（幹宏）、鈴木トモ子（正秋）、増子恵美子（久美）、江田博（一夫）、佐藤勝枝（弘一）、舟木律子（利美）。

（男三名、女五名計八名）

◉西山小学校

西沢恵（薫）、斉藤由美子（一郎）、我妻久美子（福雄）、松本みゆき（定吉）、芳賀千春（榮良）、高木真知子（知一）、関根利樹（孝夫）、関根みち子（勝義）、阿久津久美子（貢）、高野京子（博光）、高野伸子（長二）、関根英樹（英也）。

（男二名、女一〇名計一二名）

◉鮫川小学校

須藤康夫（宏）、鈴木美佐子（一）、前田功（吉之助）、本橋美保（隆史）、宗田博美（文夫）、鈴木聡子（勲）、酒井安代（国光）、湯坐幹雄（照雄）、大楽勝之（勝弘）、矢吹昭夫（光雄）、矢吹和夫（光雄）、鈴木忠（正己）、鈴木博子（重隆）、芳賀康子（重光）、芳賀一博（貞夫）、矢吹ゆかり（寛）、蛭田富子（彦忠）、矢吹浩善（善信）、市川浩（甲子男）、矢吹郁子（敬事）、芳賀雄一（芳雄）、溝井律子（信次）、近藤久美子（清次）、緑川常之（正美）、宗田好子（豊）、前田久美子（英雄）、前田寿次（孝徳）、中川西正（修身）、長久保春美（利生）、岡部清代枝（宏）、青戸真樹（文雄）、前田真澄（武久）。

吉田道明（和男）。

（男一七名、女一六名計三三名）

年頭の挨拶

生活の基本である農業
生産態勢の確立

議長　大楽勝男



村民の皆様明けましておめでとうございます。

一九七七年の新春を迎えるに当り村議会を代表して今年こそ皆様にとってより良き年でありますよう祈念して年頭のご挨拶を申し上げます。

かえりみますと昨年の東北地方の冷害。特に阿武隈山系の高冷地に位置する本村の場合、地域差が甚だしく地域によっては八〇年来の激甚災害となり、収獲皆無の事態も生じました。

村当局は救農対策に日夜の別なく取りくんだ結果、災害融資、救農土木事業、減税措置と一応のめどをつけたところで輝しい一九七七年を迎えることが出来たと言うのが実態でございました。

さて昨年は石油危機以来の後遺症が根強く、当初予算の時点では一般財源の伸びは期待出来ない半面、義務的経費は勿論、その他の経費の増嵩によって財政の均衡を保持することに困難が予想されましたが、当局の財政の健全化の努力と相まって、必須要件をそないて県国に祈衝の結果、財源の確保更に新規事業として、渡瀬保育所の設置と、待望の山村開発センターの建設、そして阿武隈開発も極めて順調に進んでいることに新たな希望を託して越年出来ました。

しかし乍ら、本年度は昨年にも増して村財政は勿論のこと農家個々の財政においても容易でない多難な年となるのではないでしょうか。昨年の尊い試練の上に立って農業生産態勢を見直す必要性を痛感するのであります。

被害においても、生産態勢の完全整備された地域においては最小限度に留めることが出来た実態を見て、生活の基本である本村の農業経営について、営農指導体制の強化と共に、行政指導は勿論産業団体一体となり議会活動においても真剣に考究し、依然として流出の続く過疎対策としても、今後の農政が本村の重要な課題であり又行政施策に対する住民意識が最終の問題であります。

議会においてもこれ等の問題解決のため、全力を投球して本村の限りない伸展を期して参りたい決意を新たにいたしております。

おわりに村民皆様の今年こそ幸の多い年でありますようお祈り申し上げて年頭のごあいさつといたします。

タコあげにご注意

タコあげの季節です。電線にタコがひっかかり、電気の故障や、タコをとろうとして、感電する事故が発生しております。

子供さんには、配電線の近くでのタコあげをしないよう、また、電線にひっかかった時は、東北電力に連絡するよう教えて下さい。

東北電力株

運転が
示すあなたのお人柄

村長を囲む『村政を聞くの会』



出席者　石田村長
商工青年部長　白坂真平、古舘誠一、鈴木　一、須藤泰助
芳賀　一、須藤　宏、大楽勝弘、橋本正嗣、乃井利一
宗田雅之
藤田会長、柿沼指導員、青戸補助員

村の商工業に従事する中堅の人たちで組織している商工青年部の皆さんは、村の将来と商工業の発展を真剣に考え、たくましく前進しようと、毎年村長を囲み懇談会を開いています。

今回は、一二月二四日白坂青年部長の司会で、部員のほか藤田会長、商工会職員も参加し、隔意のない懇談が行われました。

開発センターの早期完成に期待



古舘　現在工事が進められている山村開発センターについては、早い完成を期待するとともに施設の規模、内容利用見込完成予定について、お伺いします。

村長　開発センターのめざすところは、村民が多数ここに集まり、お互に親しみ合い、共に研修し、ときには憩いの場として、生きるよろこびと開発の意欲を盛り上げる総合施設として活用されることです。

構造は鉄筋コンクリート造り二階建、大集会室は一階、面積一、三九四㎡程で、総事業費二億円を要する立派な建造物で、これもひとつの鮫川村の「顔」になるものと思います。

施設の内容は、大集会室といくつかの研修室、実習室、事務室、二階には、図書室、農林業の実験室、視聴覚室、更に宿泊研修もできるよう浴室も設備される。

年間の延利用回数は八〇〇回以上を期待しており、完成は来年の八月と予定しています。

須藤㈱　開発センターへ通ずる橋を新設すると聞きましたが、どのようになっていますか。

村長　車の利用者が多くなることを考えて、公民館の西側の地点から永久橋をかける。しかし現在の橋も残しておくが、ここから車では入れなくなる。

国道三四九号線の全線舗装はいつ頃か

橋本　村内の国道三四九号線は、数ヶ所で改良が進められておりますが、今後の見通しをお伺いします。



また、阿武隈開発の完成時期と、完成後の一農家当りの規模や、地域住民にもたらす経済的恩恵についてお伺いします。

村長　国道三四九号線は、一昨年昇格したばかりでまだ十分開発が行われていない。新宿から古殿に通ずる区間は、おそくとも五三年までには舗装されましょう。

さらに蕨ノ草から先を継続して改良が進み、一方青生野からは、世々麦に向って舗装が行われています。

このように各地で改良が始まってはいるが、新宿・広畑のバイパスの問題があり、村内全線の改良舗装については、まだ見通しがむずかしい段階です。

阿武隈山系開発事業は、五〇年から着工、一応道路ができ、東野牧野が概ね完成した程度で、これからは青生野地区に肥育牧場や、乾草牧場をつくる事業に入る。

公共牧場は東白川四町村で組織した「東白川地方畜産振興施設運営組合」が運営管理する。

まだ建設の途中で、あと三年で完成は容易でない。公共育成牧場は来年から使えるが、その他は今後の問題である。

無料駐車場がほしい



芳賀　道少田・新宿・広畑地内は全面駐車禁止となりますが、地元商工業者にとっては大きな問題であり、商工業者のみでは解決がむずかしいので、村として公営の無料駐車場を設置してほしいと思いますが考えをお聞かせください。

村長　最近交通安全と事故防止上村の繁華街は全面駐車禁止となり、駐車場の必要性は十分考えられる。しかし駐車場は原則としては必要とする者が設置すべきでないかと思われる。

つまり原因者負担の原則というべきか、村が村民運動場を設置すれば、それに駐車場を付設し、開発センターを設置すれば前庭に約六〇台の駐車場をつくるというようにしている。

今後商工会や青年部などで計画がある場合は、ご相談をいただいて協力することにしたい。

若者を村内に！魅力ある仕事を！

宗田　毎年人口の減少がみられ、過疎化が進んでおりますが、これ

広報さめがわ



は村内に仕事がないことから離村するためではないでしょうか。これら村の過疎対策についてお伺いします。

次に村の発展には、道路と交通の便の確保が重要と思われますが、生活路線バスの確保対策についてお伺いします。

村長　人口の過疎現象は、全国の山村たると農村たるとを問わず進んでおり、現在でも少しづつではあるが停止していない有様です。

これは、働く場所がないということもあるが、第一は農林業に対する魅力がなくなっていること、いわゆる社会の構造的変化が起っていることです。

村では乳牛肉牛など大家畜を中心にした複合型農業経営や、たばこ、こんにゃくなど特殊生産物の規模を拡大し、農家の収入を高める施策を進めているが、熱心な精農家たちが意欲的にとりくんでいる姿が見られます。

農業生産では一獲千金を夢見ることはできない。必ず浮き沈みがあり、その沈んだときにこれを耐らえ、困難を切り開く努力が必要であることはいうまでもないことです。

働く場、就業機会の増大ということについては、工場の誘致も有力な方法で、或る程度の実現を見たが、その後経済界の不況により中断の形になっている。

また、過疎対策には生活環境の問題がある。安心して住める、生きがいのあるたのしい生活環境づくりが必要です。それには、道路の整備、医療、教育、集会の施設スポーツの施設、研修の施設等農村らしい人情に包まれた、住みやすい環境をつくることが、過疎対策の大事な柱であって、これは今後共努力していきたいと考えています。

次に生活路線バスの問題ですが最近自家用車の増加により、バス利用者が少なくなって、赤字路線が出ている。

この赤字路線の運行を続けるためには、赤字分に対して村と県が補助することにしており、村でも今年は三〇〇万円程の補助が必要であるが、生活路線はバスを止めないよう補助を続ける方針です。

須藤(榮)　村営のバスを運行する考えはありませんか。

村長　県内では村営バスを運行しているところもあるが、本村では補助によって、営業バスを運行して貰っているので今のところ村営バスは考えていない。

村の中心に公園を

鈴木(一)　当村には自然の景勝地として強滝、江竜田の滝があります



が、村の中心につつじ公園とか、桜公園といったような公園を作っていただきたいと思います。また、強滝、江竜田の施設の管理についてお願いします。

村長　わが村の観光資源は多くはないが、商工会青年部の方々によって強滝や江竜田の滝に施設を造って貰ったので、これらの名勝地が脚光を浴びるようになってきたことはよろこばしい。

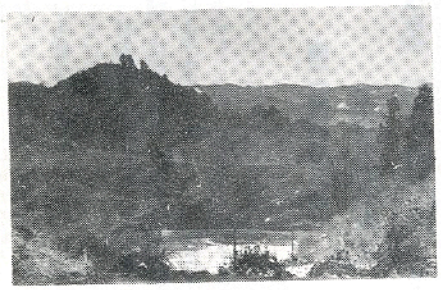
これらの管理は当然村もやらなければなりませんが、一面地域の奉仕活動によって見守ってもらうこともよいと思う。強滝は老人クラブ員の方々から奉仕して頂いて大分立派になってきた。

村の中心に公園をつくる計画は以前から進めている。舘山農村公園の計画です。

舘山を中心として、開発センター、村民運動場、今後は展望台、村民プール等も計画して村民が憩を求め、スポーツをたのしみ、自由に遊べるようなたのしい公園としたい。

また、村には強滝、江竜田の滝天狗橋といずれも川を主体とした観光地があるが、もう一つ山の観光地化を考えてはどうでしょうか。

例えば関東東北の分水嶺青生野の朝日山、石井草の妙見山、大塩の観音山、石神の殿山などがある。気易く登山できる登山道の開設を考えてみたいと思う。



大塩観音山の冬景色

公衆電話・便所がほしい

鈴木(優)　新宿、広畑地内に公衆電話及び公衆便所の必要性が感じられる。また、し尿処理については、申し込んでも相当の日数を要し、衛生上よくないので早急に対処できるよう増車等の計画についてお伺いします。



村長　まず公衆電話のことですが村内電話の自動化が具体化して前沼地内に自動交換局が設置され、六月頃には開局の運びになるかと思う。

公衆電話は新宿地内に二ヶ所、広畑地内に一ヶ所、そのほか室内用に公民館内に設置の予定がある。

ただ困ったことに、地域集団電話（農集）の自動化については、むずかしい問題がありあまり進んでいない。

次に公衆便所の設置は、公共施設には付設するが、一般の場合の計画は場所の問題があり、今のところない。

し尿処理は、塙にある四町村組合の施設の能力を拡大するよう努力する。

冷害による減収は商工業者にも影響している

大楽　今年の冷害は、農業者だけでなく、商工業者も大変深刻であります。売掛金の未回収、次年度の資金不足等、今後ますます深刻になると思います。農業対策と相まって、商工業者にも対策を実施していただきたくお願いします。



広報さめがわ

村長　今年の冷害は、昭和九年の大凶作以来の災害で、大変な被害となった。これに対し、夏の頃から関係機関に現場の被害を十分見てもらうなどの方法をとったため、災害経営資金五千万円、自作農維持資金九千百万円、更に農業共済金一億三千三百余万円の決定を見て、ほゞ被害農家の要望にこたえることができたと思う。

　これら資金や共済金は、資材代の返済や来年の再生産に使っていただくためのもので、これがまた村内業界をうるおすことになる。

　更には生活のための資金が必要であるから農家が資金を得るための冷害対策救農土木事業を起すこととした。この事業は、農・林道の開設、村道の改修や暗渠排水工事、村有林の下払、除伐作業と、一九ヶ所に及ぶ工事を計画している。

　そのほか国、県道改良補修工事などがあり、総額三億一千四百万程の工事が村内で行われる。

　また、村税の減免、種籾の補助等を只今計画中です。

村内の工事に　村内の業者を



円井　村内の工事には、村内の業者を指名いただきたい。また、業者の指名についての村の考え方をお聞かせ下さい。

村長　なるべく村の工事は、地元の業者に請負って貰って、完全な工事をしてもらいたいと思っている。

　指名については、財務規則の規定から、県に登録されている業者で、実績があり、技術者も居る者となるため村内業者の全部ということにはゆかないが、実力のある施設をもっている業者には可能な限り参加してもらうようにしている。

　村内業者の皆さんは、資本の蓄積、技術の練磨、経験の積み重ねにより実力を養って、登録などの手続もして村の工事に参加できるようにしていただきたい。

商工業に対する　村の長期計画は

須藤㈱　村のご支援により、商工業も年々活発になってきましたが村の長期振興計画に基づく商工会の育成と、商工業者の今後の進め方についての指導方針についてお伺いします。



村長　村の就業構造が変化している現在、行政も農業政策一本で進めるべきではなく、商工業も大いに重要視して今後振興を図る考えです。

　村の商工業振興計画では、流通機構の改善、工業の振興、観光施設の整備、商工団体の援助、労働力の需給調整、労使間の問題などで、今後共力を入れてゆきたい。

　しかし、商工業の振興については、中堅である皆さん方、特に商工青年部の方々の今後の活力ある活動に待たなくてはなりません。村は、商工会、商工青年部などの機関を通して、商工業の振興を図ることになるので、今後の活躍を期待するものです。



司会者　予定時間も経過いたしましたので、この辺で終了したいと思います。村長さんにはお忙しいところご出席いただき誠に有がとうございました。今後共青年部の活動にご指導ご協力をいただきますようお願いしてこの会を閉会いたします。

募集　書初め作品

　第三回鮫川村書初め展を村公民館主催で開催しますので、次により毛筆作品を多数出品して下さい。

記

㈠募集期間　昭和五二年一月一七日から二四日

㈡応募先　鮫川村公民館

㈢書題　㈠課題作品の部「山麓の初春」書体は楷書とする。㈡自由作品の部　書題、書体は自由

㈣用紙　特に指定せず自由

㈤対象者　村内居住の一五才以上の者（学生含む）

㈥表彰　金賞、銀賞、銅賞、佳作に賞状をおくります。

　なお、作品は一月二六日から一月二一日まで、村公民館に、小中学校作品と共に展示しますのでご観覧下さい。

わかりやすい　申告の仕方

確定申告説明会開催

　所得税についての所得の計算の仕方や、申告書の書き方など確定申告に必要な「ポイント」をスライドなどによりわかりやすく説明します。

　白色申告の方、税の知識を得たい方はどうぞお気軽においでください。

日時　一月二八日（金）
　　午後一時三〇分から
場所　鮫川村公民館

白河税務署

危ないと
　子をしかるより手を引こう



たのしいお遊戯会

12月19日、保育所では年に１度のお遊戯会が開かれました。

　この日集まった家族の方々は、保育所生活の中ですくすくと育つ子ども達の姿を、演技の中から見いだし、感動の涙にぬれている姿がみられました。